



# 幼稚園だより

## 園内研究を通して保育を語る

令和6年5月31日  
文京区立湯島幼稚園  
副園長 澤田 亮

戸外で過ごすことが気持ちのいい季節になりました。園庭でも室内でも子どもたちは元気に遊んでいます。園庭でサッカーをしたり、砂場で水を使って遊んだりしています。また、保育室ではままごとをしたり、ホールでは大型積み木やキングブロックを使って遊んだりしています。

幼稚園では、教員の指導力向上のために、園内研究を進めています。テーマを決めて自身の保育を見直したり他の教員から助言をもらったりして、教材の幅を広げたりよりよい援助を考えたりする機会にしています。

先日の園内研では、各クラス遊びのエピソードを持ち寄りました。

ゆり組では、数人の子どもたちが動物のぬいぐるみを作りました。すると、その動物たちを連れて、園庭でピクニックをすることになりました。動物を散歩させたり餌を作ったり、子どもたちだけでピクニックをするよりもイメージ豊かに遊べたようです。ロッカーに動物のおうちを作る子たちもいました。カーテンを付けたりベッドを置いたりして、家の中が充実していきます。横の壁に白い空き箱を付けていて「これは何？」と聞くと「エアコンだよ」と応えが返ってきました。なるほど、そっくりです。ぬいぐるみで怪獣を作っていた子は、ままごとの電子レンジの中に怪獣を入れて、透明な扉をテレビに見立てていました。まるで映画のワンシーンのように配置して、とても満足そうでした。

園内研の会議の中では、先生たちはとても楽しそうにそのエピソードを語ります。「Aさんが～と言ったら、それを聞いていたBさんが～をして…」「同じ遊びをしていると思っていたら、楽しんでいることが全然違うんですね」と、本当にたくさんのお話が出てきます。また、「なかなか遊びが続かないんですね」「この遊びはこの先どうしていったらいいですかね」といった悩みが出ることもあります。それに対して「この教材を出してみたら？」「前の年長組さんは～をしてたよ」などの助言があり、「明日それをやってみます！」と、また話は盛り上がります。

園内研を重ねることで、自らの保育を振り返る力、保育を語る力、相手の思いを受け止めたり認めたりする姿勢、研究で得た知識を実践に生かす力など、様々な力が身に付き、教員の資質向上、質の高い幼児教育につながるのだと感じました。

子どもたちとの楽しい遊びや生活が、よりキラキラしたものになるように、支えていきたいと思っています。

### ゆり組のエピソード記録

(各クラスの記録を職員室前に掲示します。ぜひご覧ください)

みんな、なまえをかんがえてくれて  
ありがとう。  
ちょこちゃんにきまりました。  
これからよろしくね！

